



# 変化を起こす

アメリカ・ジョージア州 アトランタmetro R C

THE ROTARIAN 8月号から

創立：2019年  
創立会員：20人  
現在会員：31人

## CLUB INNOVATION：

アトランタmetro・ロータリークラブ（RC）は、仕事とロータリー活動に打ち込みたい多忙な若い職業人がロータリークラブからロータリークラブへスムーズに移行できるようにつくりかえられています。ネットワークとメンター制度に重きを置く同クラブは、ボランティア活動で他の慈善団体と提携し、会員にかかる運営の負担を減らしています。

## 年齢層を広げる

アトランタ地域のロータリアンは、長年にわたって青少年育成に力を入れて活動してきました。その主な実績は、盤石のRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）組織と、州全体にわたる国際的な大学生のための学生リーダーシッププログラム。そして未来を見据えて、アトランタ・ロータリークラブ（RAC）からアトランタmetro R Cの創立への流れとなりました。

アトランタRACの会長として熱心に活動したアリーシャ・ロドリゲスさんは、仕事が多忙なためロータリークラブに入会できないものと思っていました。多くのロータリークラブで会員は活動に時間を大きくとられ、新会員はしばしば「いきなり委員会に入れられて疲れ切ってしまう」と聞いていた、とロドリゲスさんは言います。

ダンウッドR Cの会員で、長年ロータリーアクターの指導に携わってきたデイビッド・ゴードンさんとウォレン・ターナーさんは、そういった話をこれまでも耳にしていました。そこで二人は行動を起こし、ロドリゲスさんや他の人々に声を掛けて新しい形のクラブを創立したのです。「ロータリー出身の会員もいれば、ロータリーアクターの友人もいます」とターナーさん。「うちのクラブを退会したロータリアンに再び連絡を取りました。こういう新しいタイプのクラブの方が、自分たちのニーズに合っていて魅力的だと言ってくれました」

奉仕とクラブでの活動できる範囲に限定するため、同クラブは他団体とのパートナーシップを重視しています。一からプロジェクトを立ち上げるのではなく、「他団体との関係を築くことで、ボランティア活動の機会が得られるようにしました」とロドリゲスさん。

「会員に金銭面での支援を呼び掛けているのはロータリー財団だけです。他団体はあくまで人材支援。アイデアと労働力で支援します」とゴードンさん。同クラブは他の慈善団体と共同で行うプロジェクトにおいて、アトランタRACや他のロータリークラブと連携することもあります。

まだ新しく、公式にはなっていないメンター制度について

では、すでに強い絆が生まれている、とゴードンさんは言います。「始めたばかりのことで、徐々にですが、確実に進んでいます」とゴードンさん。年配の会員も若い会員から学んでいる、とターナーさんは言います。「若い世代の方が新しいテクノロジーを取り入れるのに抵抗がないですから。私たちならEメールを使うところを、彼らはSlack（コミュニケーションツール）を使いますからね」

「若い会員と年配の会員のバランスを取るようになっています」とゴードンさん。小さなクラブなので、大きなクラブで時に起こる派閥の問題はない、とターナーさんは言います。「多くのロータリークラブが陥るわなですが、同じグループの人々で固まりやすいのです。しかしこのクラブは小さいので、どうしても全員と話すことになります。会話をし、他の人にとって何が重要なのか、耳を傾けることが大事なのです」

同クラブは月に2回例会を開きますが、例会の代わりに場所を変えて親睦会を開くこともあります。よく交流行事を開催するホテルは、アトランタの中心地・バックヘッドにあるにもかかわらず、会場費がたったの100ドル。アトランタRACとの合同例会は2カ月に1度開かれます。

「肩のこらないクラブなので、みんな喜んでくれています。友人の集まりという感じで、その雰囲気は今後も守っていきたくと思っています。会員に活動を楽しんでもらえて、仲間でありたいと思ってもらえるようにするために、いろいろと工夫していますから」とゴードンさんは話します。

—BRAD WEBBER



左上：成人障害医療ヘルスケアの5km／1kmマラソンでボランティアする会員たち。上：アトランタRACとともに、ジョージア州最高裁判所首席判事のハロルド・メルトンさん（右）とイベントを共催するアトランタmetro R C。



## 「環境の保全」が 新しい重点分野に



国際ロータリー（R I）理事会とロータリー財団管理委員会は、「環境の保全」という新たな重点分野を追加しました。

過去5年間、財団のグローバル補助金では、1,800万ドル（約19億4,000万円）以上が環境に関連したプロジェクトに充てられてきました。環境を支援する別個の重点分野を設立することで、ロータリアンが世界中の地域社会で好ましい変化をもたらし、より大きなインパクトを生み出す一助となります。

「環境の保全」は、ロータリーの7つ目の重点分野となり、グローバル補助金によって実施される奉仕活動のカテゴリーの一つとなります。その他の重点分野は、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展です。

プロジェクトのための補助金申請は、2021年7月1日から受け付けを開始します。この新たな重点分野におけるグローバル補助金を支えるため、ロータリアンや他の人々からの寄付や誓約を今後募っていくこととなります。

## ロータリーのポリオ根絶活動の 立ち上げに尽力した レヌーフ元R I会長が逝去

世界的ポリオ根絶活動をロータリー



逝去されました。

レヌーフ氏はオーストラリア・クイーンズランド州ナンバー・ロータリークラブ（RC）の70年来的会員でした。R I理事、財団管理委員、ガバナー、R I委員および委員長、国際協議会討論リーダーを歴任されました。

1979年前半、フィリピンから帰国する飛行機の中で、レヌーフ氏は天然痘の根絶に関する雑誌記事を目にしました。そこで、ロータリーの新しい「保健、飢餓追放および人間性尊重（3H）補助金」プログラムを使って他の疾病を根絶できないだろうかと考えました。3H補助金は、複数のクラブや地区が協同するロータリープロジェクトを初めて可能とするものでした。

レヌーフ氏は、アメリカ・メリーランド州知事であり、アメリカ国立衛生研究所感染症研究所長だった友人、ジョン・セバー氏に相談しました。セバー氏は、1950～60年代にポリオワクチンを開発したジョナス・ソーク博士とアルバート・セービン博士の友人でもありました。セバー氏は、リサーチを行った上で、ロータリーが疾病の根絶に取り組むならポリオが最適であると述べました。

「クレムはそこで、ロータリーによる世界的プロジェクトとしてポリオ根絶に目を向けるようになった」と、2010～11年度R I会長のレイ・クリンギンスミス氏は回顧します。1979年11月、R I理事会は3Hプログラムの主要目標としてポリオ根絶を掲げることに同意しました。

1985年、ロータリーは「ポリオプラス」プログラムを立ち上げ、これが各国政府、世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフとのパートナーシップである「世界ポリオ根絶推進活

動」(GPEI)へと発展しました。GPEIは、現在も引き続き、全世界でのポリオ根絶活動に取り組んでいます。

レヌーフ氏は第二次世界大戦中にオーストラリア空軍に従軍。終戦後、レヌーフ&クラーク社の会計士・パートナーとして活躍しました。同氏はまた、Chartered Institute of Secretaries and Administratorsのメンバー、のちにCPAオーストラリアとなるAustralian Society of CPAsのフェローでもありました。さらに、Sundale Garden Villageという高齢者施設も創設しました。

ポリオプラスへの卓越した貢献が称えられ、ポリオプラス・パイオニア賞を受賞した他、超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞。また、ロータリー財団ベネファクター、メジャードナー、ポール・ハリス・ソサエティと遺贈友の会の会員でした。

My Rotary

動」(GPEI)へと発展しました。GPEIは、現在も引き続き、全世界でのポリオ根絶活動に取り組んでいます。

レヌーフ氏は第二次世界大戦中にオーストラリア空軍に従軍。終戦後、レヌーフ&クラーク社の会計士・パートナーとして活躍しました。同氏はまた、Chartered Institute of Secretaries and Administratorsのメンバー、のちにCPAオーストラリアとなるAustralian Society of CPAsのフェローでもありました。さらに、Sundale Garden Villageという高齢者施設も創設しました。

ポリオプラスへの卓越した貢献が称えられ、ポリオプラス・パイオニア賞を受賞した他、超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞。また、ロータリー財団ベネファクター、メジャードナー、ポール・ハリス・ソサエティと遺贈友の会の会員でした。

My Rotary

## 今後のR I 国際大会

(以下予定)

2021年6月12～16日

台湾・台北

2022年6月4～8日

アメリカ・ヒューストン

## 統計

全世界ロータリアン総数

1,213,465人

クラブ数 36,246クラブ

地区数 523地区\*

国と地域 200以上

ローターアクト会員数 175,735人

クラブ数 10,602クラブ

国と地域 160以上

インターアクト会員数 340,377人

クラブ数 14,799クラブ

国と地域 150以上

2020年6月16日現在

\* 2020～21年度

ロータリーの友  
Home Page  
www.rotary-no-tomo.jp